



徳島県立中央病院 患者支援センター
770-8539 徳島市蔵本町1丁目10-3
<http://www.tph.gr.jp/>

電話 088(631)7151
FAX 0120(631)715
mail: chiiki@tph.gr.jp

TOP KNIFE から外傷センターへ

～当院での外傷患者受け入れの取り組み～

外傷センター長 大村 健史

2017年4月より徳島県立中央病院に救急外科・外傷センター（Emergency Surgery & Trauma; EST）が開設されました。開設に関してご協力いただきました関係者の方々には、この場を借りてお礼申し上げます。

当センターは外傷外科・救急外科・外科集中治療を三本柱として、外傷患者あるいは救急外科患者を一貫して診療する新たな部門で、Acute Care Surgery と称されることもあります。以下に外傷センター設立までの取り組みについてご紹介させていただきたいと思います。

防ぎえた外傷死（予測生存率50%以上での死亡）が2000年の全国調査で40%あったという衝撃的な報告がなされて以来、外傷診療改善の気運が全国的に高まり、JATECなど外傷初期診療に関するコースが開催されるなど官民挙げての取り組みが行われるようになりました。一方、ERで一時的であれ状態を安定化されたあとの治療、特に外科的治療に関する取り組みは比較的最近まで普及していませんでした。

当院でも外傷診療に重点を置くようになり、遅ればせながら2009年より院内外傷初期診療コース、mini TEC が開催されるようになりました。外科治療に関しては2010年から外傷勉強会 TOP KNIFE が始まりました（開催は現在までに340回を超えます）。外傷患者は常時発生しているため、すぐに患者を TOP KNIFE チームが受け持つようになり、さらに要望に応える形で、毎日のオンコール体制を敷いて365日24時間体制をとるようになりました。さらに、重症外傷患者の増加に伴って2012年頃より救急外来で緊急開胸・開腹手術ができるようERの整備がすすめられました（チームワークの構築、指揮命令系統確立、物品の準備など）。2013年にはドクターヘリ運用が始まり、より重症患者が遠隔地から搬送されるようになり、救急医あるいは外科医個々のスキルアップ、術後のICU管理などが課題となりました。

外傷では2つとして同じ症例はなく教科書通りに事が進むことはありません。さらに現場で瞬時に患者の命運を決する決断を下す（decision making）必要に迫られます。より専門性の高いプロフェッショナル達によるチーム作りが救命率向上のためには必要です。また、消防・輸血・手術・ICUなど院内外の各部署と適切な連携をとるためには組織としての立ち位置を明確にする必要があると考え（リクルート活動含む）外傷センターが作られました。

患者受け入れ態勢の再構築、他医療機関との連携、ハイブリッドERの導入、外傷医の教育など課題が山積みですが“最高水準の医療で、外傷患者を幸せにする”の理念を追求できるよう、これらに全力で取り組んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

E-ナース院内研修のお知らせ



- ① 『最新呼吸療法のエッセンスシリーズ～本当に正しい酸素療法』
講 師：菅 広信 氏（秋田大学医学部附属病院集中治療室 集中ケア認定看護師）
日 時：平成29年5月24日（水）17時40分～18時40分 場 所：当院3階 会議室2
- ② 『バイタルサインとモニタリング～RRSのための管理のコツ～』
講 師：瀧本 雅昭 氏（東邦大学医療センター 急性・重症患者看護専門看護師）
日 時：平成29年6月7日（水）17時40分～18時40分 場 所：当院3階 会議室2

*院外の方も参加可能です。

問い合わせ先：088-631-7151 徳島県立中央病院 患者支援センター 有馬

看護局 専門分野研修会のお知らせ

- ① 『重症患者のせん妄～高次機能障害とユマニチュード～』 担当：集中ケア認定看護師 殿谷/谷藤
日 時：平成29年6月23日（金）17時30分～18時30分 場 所：当院3階 講堂
- ② 『脆弱な皮膚への対応』 担当：WOCナース 小松 美智子
日 時：平成29年7月4日（火）17時30分～18時30分 場 所：当院3階 講堂
- ③ 『酸・塩基平衡について』 担当：集中ケア認定看護師 殿谷
日 時：平成29年7月21日（金）17時30分～18：30分 場 所：当院3階 講堂

*院外の方も参加可能です。事前申込みは必要ありません。

問い合わせ先：088-631-7151 徳島県立中央病院 看護局次長 宮本

第30回緩和ケア連携症例検討会のご案内

当院ではがん緩和ケアで在宅移行など地域の在宅医や訪問看護・ケアマネジャーと連携したり、他院へ転院支援でかかわった患者さんについての症例検討会を行っております。多数のご参加お待ちしております。

と き：平成29年5月23日（火）19：00～20：00
と ころ：徳島県立中央病院 3階講堂

『大容量カートリッジ精密持続注入ポンプを使った
在宅移行を短時間で調整できた事例』

事例提示：徳島県立中央病院 外科 川下医師、松下医師
緩和ケアチーム 片岡医師
8北病棟 担当看護師
かさまつ在宅クリニック 笠松先生
北常三島調剤薬局 薬剤師 伊勢先生
えくぼ居宅 ケアマネ 忠津先生

■連絡先：徳島県立中央病院 がん診療支援センター 有馬 TEL：088-631-7151



徳島県立中央病院

TOKUSHIMA PREFECTURAL
CENTRAL HOSPITAL

《報告》

皆様のおかげをもちまして、

平成29年3月

初診紹介率85.0%、逆紹介178.1%

今後も地域医療連携推進に努めます。何卒よろしくお願い申し上げます。